

「わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」
(ヨハネ福音書15章3節)



イエスにつながっていられる道の一つは、み言葉を受け入れること。

み言葉を受け入れることで、私たちのうちに神様が入ってこられ、心を清めて下さいます。エゴイズムから清めて下さり、豊かで良質な実を結ぶのにふさわしい心にしてくれます。



「わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」
(ヨハネ福音書15章3節)



神様の愛に“刈り込まれる”に任せる人、福音はそうした人に、“味の良い”実り、つまり満ち満ちた喜びを約束しています。

その喜び☺は特別なもので、涙のうちにあっても☹咲き出で、心から♡あふれるほどに大きく、周りの地を豊かに潤します☂。

これは、小さな「天国の前ぶれ」です。

いのちの言葉5月



「わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」
(ヨハネ福音書15章3節)

み言葉を生きるとき

私たちは自分の殻から外に出るようになる。

それは、愛をもって兄弟に出会いに行くため。身近な人たちから始めて。自分の町、家族、生活のさまざまなシーンで。



いのちの言葉5月



「わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」 (ヨハネ福音書15章3節)

互いに愛し合いなさいという掟の実現をめざして、ポジティブな関係のネットワークを作ること、そうした交友関係が

兄弟愛
を築き上げる。



お互いの愛を生きると、イエスと同じ考え方、感じ方を身に着けることができる。この地上に再び🌍🌍🌍イエスが生きること、☹悪や罪から抜け出ることができない社会に、福音が与えてくれる、神聖な清さ☺透明さをもたらずように。

「わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」
(ヨハネ福音書15章3節)



いのちの言葉5月



お互いの愛のうちにみ言葉を生きるなら、聖性の恵みがあり、神様の近くにいるのを感じる。

人は、独りぼっちではこの世の誘惑に長く耐えきれない。お互いの愛があるところには健全な環境があり、本物のキリスト者としての在り方を守りぬくことができます。

キアラ・ルービック
1982年5月のいのちの言葉より



www.focolare.org/japan



いのちの言葉5月

「わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」
(ヨハネ福音書15章3節)